

平成29年度変更事業計画書

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

I 公益目的事業

1 研究事業

事業名	事業の内容
関門航路早瀬瀬戸付近海域における船舶航行安全調査研究	関門航路を航行する船舶は1日600隻を超え、最も可航幅が狭い早瀬瀬戸付近海域は潮流の影響も受け易く、関門航路の中でも難所として知られる海域である。現在、4ノットの優速規定があり、潮流が穏やかになった際に船舶が集中し、また、速力の遅い船が混在することから船舶交通の流れが遅くなり、更に、速力調整のため主機関の発停により速力を調整する船舶も見受けられ、海事関係者から追越し禁止海域前後での船舶の渋滞が慢性化し同海域通航に時間を要し経済活動に支障がでる場合もあるとの指摘もあることから、当会としては、これまで同海域の船舶の航行、潮流等に関し調査研究を行った実績もあり、また、独自に同海域のAISデータを蓄積していることから、今回、同海域での調査研究を実施することにより、同海域での海難の減少と経済活動に支障がない新たな安全対策を提言することを目的とする。

2 調査事業

事業名	事業の内容
1. 港湾計画改訂に伴う船舶航行安全対策調査研究	港湾計画の改訂に伴う船舶交通についての諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
2. 港湾工事に伴う船舶航行安全対策調査研究	港湾工事に伴う海上交通流の変化等新たに生じる海上交通の諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
3. 船舶大型化に伴う船舶航行安全対策調査研究	船舶大型化に伴う入出港及び着離岸等航行安全対策について調査研究する。

3 情報提供事業

事業名	事業の内容
1. 航行安全支援業務	海上工事に、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに情報提供する。 更に、ホームページを活用し広く一般に安全情報を広報周知する等航行安全支援業務を実施する。

事業名	事業の内容
2. 海難防止強調運動の実施	全国海難防止強調運動における運動方針を受け西日本、南九州、沖縄地区の推進連絡会議を開催し、推進方法を企画、策定し、実施する。
3. 海難防止啓蒙活動	海難防止啓蒙ポスター及び海難防止関連グッズを作成して啓蒙活動を支援する。また、年間3万人を超える来館者がある海事広報展示館の資料等の充実を図り、海難防止活動の推進を図る。
4. 講習会	① 西海防セミナー 年2回（北九州市、福岡市）、海難防止に関する講演を実施し、海難防止に関する啓発を行う。 ② 安全講習会 海上工事作業従事者等に対し、海事関係法令及び海域の特性等を勘案した講習会を実施する。
5. 広報活動	① 会報の刊行 年4回、調査研究の成果等を取りまとめ「公益社団法人西部海難防止協会会報」として会員及び関係者に配布する。 ② ホームページの活用 海事関係者はもとより広く社会一般に広報し、海難防止思想を啓発して、海難防止に資する。 ③ 海事広報展示館での周知宣伝 関門海峡を中心とした映像等により安全な航行のための周知宣伝を実施する。

II 収益目的事業

調査事業

事業名	事業の内容
1. 特定船舶の入港に係る解析調査	特定船舶の入港に関し委員会報告書に基づく入港基準と航跡を解析調査する。
2. 特定船舶大型化等に伴う船舶航行安全対策調査研究	船舶大型化等に伴う入出港及び着離岸等航行安全対策について調査研究する。